

第2次厚木市スポーツ推進計画の取組状況について(令和4年度)

資料1

本計画は、第10次厚木市総合計画及び第2次厚木市教育振興基本計画に掲げる目標を実現するための具体的な取組等を定めた個別計画であり、計画期間は、令和3年度から令和8年度までの6年間とし、60の施策の概要から市民のスポーツ活動を推進するもの。具体的な取組については次のとおり。

令和5年2月17日現在

基本目標	施策の方向	施策の概要	事業関係課等	取組
地域におけるスポーツ活動の推進	1	公民館主催事業の推進	各地区公民館	各地区において、春季健康まつり、地区運動会などの公民館主催事業を実施した。
	2	公民館主催事業のPR活動の強化	各地区公民館	その他としては、ソフトバレーボール大会、ニュースポーツ教室、ソフトボール大会、歩け歩け大会、サーチウォークチャレンジ、ターゲットバードゴルフ大会、合同駅伝大会、ウォークラリー&ゲーム大会、走り方教室、スローピッチソフトボール、夏季健康まつり、自治会対抗ボウリング大会、ふらばーるバレーボール体験、生涯スポーツ推進事業、デカスポテニス教室、ピラティス教室、ポッチャ・カーレット体験会、大山トレッキング、公民館地区館長杯ゴルフコンペ、ウォーキング、2地区合同マラソン大会、自治会対抗駅伝競歩大会、スポーツ祭、歩行運動推進大会、ファミリーバドミントン大会、ナイトターゲットバードゴルフ大会、スポーツレクリエーション大会、バウンスポール教室・大会等を実施した。
	3	地域住民が参画するスポーツ活動の充実	スポーツ推進課	地区の体育振興を図るため、活動を行う厚木市地区体育振興会長連絡協議会へ補助金交付。関連団体が実施しようとする体力向上や健康増進を図ることを目的とした事業等に必要な講師等の派遣を行う。
			睦合西公民館	《コミュニティづくり推進事業「気軽にふらっとスポーツ」》 「本格的にはではなく、ふらっと公民館に立ち寄りスポーツができる」を目的に、地域の方の協力の下、月2回程度実施。バドミントンや卓球などのメジャーなスポーツはもちろん、カーレットやペタンク、ファミリーバドミントンなどのニュースポーツの体験も行い、普及・啓発を図る。 参加人数：延べ187人(2月17日現在)
			玉川公民館	玉川地区在住の高齢者を対象に「ポッチャ講習会(25人)」を実施し、健康増進及び交流促進を図った。
	4	【新】地域におけるスポーツ交流の推進	各地区公民館	市民体育祭やあつぎ駅伝競走大会などへ選手を派遣し、地域交流を図った。
	「一市民一スポーツ運動」の推進	5	「一市民一スポーツ運動」の推進	スポーツ推進課
6		「3033(サンマルサンサン)運動」の推奨	健康づくり課	「健康食育あつぎプラン」で取り組む身体活動・運動習慣に関する講座を実施する中で、健康あつぎ推進リーダーによる運動を含めた「カラダ快活☆講座」を11回実施し、延べ257人の市民が参加した。 (令和5年1月末現在、残り5回予定)
7		あゆコロちゃん体操の普及促進	健康づくり課	《カラダ快活☆講座》 若年層の体力低下、中高年のメタリックシンドローム及び高齢者の生活機能の低下など、現代の健康上の課題を解決するため、気軽に楽しく行うことができる「新あつぎ市民健康体操(通称:あゆコロちゃん体操)」を継続的に市民へ普及させ、健康保持・増進を図るとともに健康寿命の延伸や「健幸生活」に繋げていくことを目的とした「あゆコロちゃん体操指導員」による講座を8回実施し、延べ142人の市民が参加した (令和5年1月末現在、残り1回予定)

健康・体力づくりの推進	8	【新】ラジオ体操の普及啓発	スポーツ推進課	各種大会等開会式の際に、準備運動としてラジオ体操の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、開会式は中止。
			教育指導課	学校運営協議会の取組みで、ラジオ体操を地域の方と一緒に実施した。 実施校:毛利台小学校 時間は8時～8時20分(夏休み終了直前の数日間に実施することで、生活リズムを整え、2学期へのスムーズな移行を促すことができた。)
	9	健康づくり・体力づくり教室等の開催	健康長寿推進課	《健康スイミング事業》 日常生活で運動する機会の少ない障がい者、障がい児及び高齢者の健康の維持・増進等を図ることを目的に、保健福祉センター6階水浴訓練室で健康づくり事業(健康づくり教室・団体貸切・開放)を実施していたが、実施場所である水浴訓練室が、集団予防接種会場や改修工事を行ったため、事業は中止。
			睦合西地区市民センター	《地域福祉推進事業(みんなで軽体操)》 介護福祉士による、軽体操を中心とした健康体操を実施した。
健康づくり課			市民への一般健康教育として、運動プログラムを実施し、運動習慣を身に付けるとともに、生活習慣病の予防や健康に対する知識を高めている。 《集団健康教育》 女性のためのフィットネスプログラム ラテン系エクササイズ4回 延56人参加、フラダンス4回 延53人参加、バレトン2回 延26人参加 運動講座(令和5年1月末現在、残り2回予定) 《地区健康教育》 神奈川県健康支援プログラムを利用した運動講座「ちょいトレ」 8回 延60人参加	
国保年金課	《ヘルスアップ事業》 若年層をターゲットとした講演会を実施。参加者164人 《ロコモティブシンドローム予防事業》 ロコモティブシンドロームの発症予防を目的に、自己の健康管理を見直すための機会を提供するため、ロコモ度テスト及びロコトレ等を実施。参加者14人			
子どものスポーツ活動の推進	10	子どもたちの外遊び、スポーツ活動の奨励	青少年課	子ども会会員で構成された、ソフトボール8チーム、ドッジボール7チームが、少年少女球技大会を実施した。 大会参加者数(2競技合算)選手228人、育成者60人
	11	子どもを対象としたスポーツクラブ等の活動の活性化やスポーツ教室の充実	(公財)厚木市スポーツ協会	・スポーツ教室の開催 小人及び小人から大人までを対象とした教室を27教室開催(実施中含む)。※スポーツ教室の開催と重複あり ・キッズスポーツチャレンジ 「キッズダンスにチャレンジ」 期日:7月24日(土) 会場:南毛利スポーツセンター 対象:年中～小1 参加者数:36人 ・スポーツフェスティバル 「スポーツチャレンジデー」 期日:11月26日(土)・27日(日) 会場:南毛利スポーツセンター 対象:年小～大人 参加者数:のべ340人 【小人対象プログラム】ミズノプレイパーク、ミズノ流忍者学校、ミズノスポーツ塾苦手克服とびばこ教室、ミズノスポーツ塾苦手克服つぼう教室、ミズノ走り方教室、ソフトテニス体験教室 【親子対象プログラム】ミズノ親子運動あそび教室 【大人対象プログラム】ミズノMotionDNA(歩行能力測定) 小人～大人対象大会 ATSUGIチャレンジカップ小学生ソフトテニス大会

1 みんなで楽しめるスポーツ活動の推進	12	児童・生徒の体育・スポーツ活動の支援	スポーツ推進課	≪アテネパラリンピック金メダリスト高橋勇市選手小中学校巡回講演≫ アテネパラリンピックマラソン競技金メダリスト高橋勇市選手が、小中学校巡回講演会を開催し、市内6小学校に7回講演を行った。 ≪横浜DeNAベイスターズプロ野球観戦招待≫ 「2022厚木市こども招待デープロ野球観戦」招待あり。 ≪ちびっこマラソン・駅伝競走大会≫ 子ども達の日常生活の中でのスポーツ活動に対する関心を高め、参加者相互の交流を深めるとともに体力の向上と心身の健全な育成を図る。	
	13	教員の研修の充実	教育指導課	1 体育・保健体育科教員を対象とする研修会を実施するとともに、県教育委員会、体育指導センター及び武道館主催の研修会等において、参加を促した。 ≪学校体育指導者研修講座≫小学校1人 中学校1人 ≪学校体育武道指導者(柔道)≫中学校1人 ≪体力向上研修集中講座≫小学校23人 中学校 13人 ≪小学校体育指導法研修講座≫小学校23人 ≪県央地区学校体育指導者講習会≫小学校23人 中学校 13人 ≪健康教育研修講座≫小学校23人 中学校 13人	
			教育研究所	2 市が教職員を対象に実施する希望制教員研修で、体を動かすことが苦手な子どもへの理解やかかわり方や運動指導場面で大切にしたいポイント・工夫点を事例とともに学びました。 寺子屋講座「体を動かすことが苦手な子の運動発達支援」≫小学校24人 中学校3人	
			教育指導課	部活動指導員は、配属先の中学校の校長の指揮・監督の下に、校長から認められた範囲内で、部活動顧問教員と同様の指導をおこなっている。 5人の部活動指導員を5校に配置し、部活動の指導、運営を行った。 競技種目：ソフトテニス部、バドミントン部、陸上部、吹奏楽部、卓球部	
	14	【新】部活動指導員配置事業の充実	教育指導課	部活動指導協力者は、派遣先の校長の指揮を受け、部活動の時間に当該部活動顧問教員の指導計画に従い、顧問教員を支援する立場で生徒の技術指導を行っている。 各学校の実情に応じ、部活動指導協力者を派遣することができた。 【令和4年度(1月末時点) 60人 2,067回 13校】	
	15	部活動指導協力者派遣の充実	教育指導課	部活動指導協力者は、派遣先の校長の指揮を受け、部活動の時間に当該部活動顧問教員の指導計画に従い、顧問教員を支援する立場で生徒の技術指導を行っている。 各学校の実情に応じ、部活動指導協力者を派遣することができた。 【令和4年度(1月末時点) 60人 2,067回 13校】	
	16	スポーツ教室の充実	(公財)厚木市スポーツ協会	幅広い年齢層を対象とした事業を37教室開催(実施中・実施前含む)し、1,199人が参加(未確定)。なお、新型コロナウイルスの影響で2教室、募集状況から1教室を中止。	
		ニュースポーツの普及促進	スポーツ推進課	スポーツ活動の普及奨励により健康体力づくりの増進を図る。 ≪実施事業≫スポーツなじみデイ、スポーツレクリエーションフェスティバル	
		未病運動講座の開催	観光振興課	ノルディックウォーキングやヨガ、温泉入浴、湘南厚木病院スタッフによる未病(健康)をテーマとした講座、自然豊かな里山の旅館での食事など、環境、運動、食事、温泉の4つの要素を組み合わせたユニークな健康プログラム事業を予定していたが、中止。	
		健康づくり大学の開催	観光振興課	ノルディックウォーキングやヨガ、温泉入浴、湘南厚木病院スタッフによる未病(健康)をテーマとした講座、自然豊かな里山の旅館での食事など、環境、運動、食事、温泉の4つの要素を組み合わせたユニークな健康プログラム事業を予定していたが、中止。	
	障がい者のスポーツ活動の推進	20	体育大会の開催と参加支援	障がい福祉課	≪市主催障がい者体育大会≫中止。 ≪第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」≫ 開催期間：令和4年10月29日～31日 参加者：7人 内容：往復タクシーでの参加選手の送迎
				スポーツ推進課	全国大会や国際大会(障害者スポーツ含む。)などへの市民の参加を支援した。(138件(うち国際大会6件))※2月20日現在
		21	スポーツ・レクリエーションの推進	スポーツ推進課	障がいのあるなしにかかわらず、共に実施できるスポーツの魅力をいかし、様々な人々との相互理解が深められるよう、
22		ノーマライゼーションの推進	スポーツ推進課	スポーツなじみデイでポッチャ競技を実施。	

	23	【新】パラスポーツの普及促進	スポーツ推進課	《市民体力向上推進事業》 アテネパラリンピックマラソン競技金メダリスト高橋勇市選手が小中学校巡回講演会を開催し、市内6小学校に7回講演を行った。		
	24	障がい者スポーツ団体への支援	障がい福祉課	神奈川県障害者スポーツ大会事業のため補助金を交付(1件)		
スポーツ交流の推進	25	交流イベントの充実	スポーツ推進課	地域は異なるが同じスポーツに取り組む市民のスポーツ交流を通して、競技力の向上を図る。 市民体育祭、スポーツなじみDAY、スポーツレクリエーションフェスティバルの開催。		
			(公財)厚木市スポーツ協会	・スポーツ協会功労者の表彰及び全国大会等出場者を紹介するスポーツ人のつどいは、3月11日開催予定。		
	26	市民スポーツ大会の開催	スポーツ推進課	市民の体力、競技力の向上と住民相互の交流を図ることを目的に、市民体育祭、あつぎマラソン、あつぎ駅伝等を開催。 《市民体力向上推進事業「あつぎサーチウォーク チャレンジ」》 講師依頼のあった緑ヶ丘公民館において、サーチウォーク競技の解説等を実施した。		
			(公財)厚木市スポーツ協会	競技力の向上及び参加選手の相互交流を図るため、加盟団体との共催による競技別選手権大会を開催した。 《競技別選手権大会実施状況》 2月15日までに18大会を開催し、3662人が参加。競技力の向上及び参加選手の相互交流を図ることができた。なお、開催中が1大会、今後開催予定が4大会あり。		
スポーツ交流の推進	27	【新】全国健康福祉祭(愛称:ねんりんピック)の開催	スポーツ推進課	荻野運動公園でラグビーフットボール交流大会及び健康マージャン交流大会を開催した。 会場では未病改善教室や健康相談の実施するとともに、物産コーナーを設け、厚木市の食の魅力を発信した。		
			28	全国大会等の誘致	スポーツ推進課	競技スポーツの推進及び生涯スポーツの普及振興を図るため、広く市民が観覧できるスポーツ大会を厚木市内で開催する団体に対し、補助金を交付した。(関東大会規模 2件)※2月20日現在
					スポーツ推進課	国内友好都市(秋田県横手市)で開催された第7回よこてシティハーフマラソンへの参加。
					健康長寿推進課	厚木市・軍浦市高齢者親善ゲートボール大会、中止。
			(公財)厚木市スポーツ協会	交流都市とのスポーツ交流、中止。		

		29	友好都市等とのスポーツ交流会の開催	企画政策課	男子バスケットボールニュージーランド代表チームのキャンプを受入れ、市内バスケットボール協会に所属する児童・生徒を対象とした日本代表との国際親善試合観戦プログラムを企画し、交流を図った。 なお、糸満市とのバドミントン交流については、新型コロナウイルス感染症及び台風の影響により中止となった。 国際交流事業補助金については、スポーツ団体からの申請はなかった。
					国内友好都市交流事業補助金交付件数:1件 【内容】 ・厚木市バスケットボール協会 糸満市とのバスケットボール交流事業(受入れ)
あつぎスポーツアカデミーの推進		30	トップアスリートの育成	スポーツ推進課	スポーツ協会に対して、あつぎスポーツアカデミー補助金を交付し、必要に応じて事業開催の支援を行った。
				(公財)厚木市スポーツ協会	トップアスリートの育成を目指して、年代に応じたイベントを開催する。未就学児は運動能力の発達、小学校低学年では取り組むスポーツの発見、小学校高学年では運動神経の発達を主眼に置いたイベントに加えて、競技技術のレベルアップをテーマにしたイベントも開催する。 中学生には部活動の補完をテーマに著名なアスリートが講師を務めるイベントを開催。また、ジュニア期のケガ予防や個々のパフォーマンスアップを目的にスポーツクリニックを開催。 《実施事業》幼児運動アカデミー、小学生体づくりアカデミー、小学生トレーニングアカデミー、キッズ野球アカデミー、永里源気サッカーアカデミー、バスケットボールクリニック、中学生ソフトテニススクール、中学生ソフトテニスアカデミー、中学生バドミントンアカデミー、中学生軟式野球アカデミー、スポーツクリニック、中学生バレーボールアカデミー、中学生卓球アカデミー
		31	市民のスポーツ活動の推進	スポーツ推進課	学校法人日本体育大学関連校のバスケットボールに取り組む学生に対し、男子ニュージーランド代表選手と日本代表の練習試合の観戦及び運営補助の機会を提供すると同時に、クリニックを開催することで技術を学ぶ場も提供した。
総合型地域スポーツクラブ創設支援・育成及び連携・協働		32	総合型地域スポーツクラブの創設支援	スポーツ推進課	総合型地域スポーツクラブ創設に該当する団体はなかった。
		33	総合型地域スポーツクラブの人材育成	スポーツ推進課	県との連携により、必要に応じた総合型地域スポーツクラブの人材育成を図った。
		34	総合型地域スポーツクラブの普及啓発	スポーツ推進課	総合型地域スポーツクラブ(SCD厚木スポーツクラブ・OGINOスポーツアカデミー)が主催するイベント等について、市広報紙や公民館だよりを活用し、周知活動の支援を実施した。また、学校でのクラブ周知活動を認め、支援の幅を広げた。
		35	【新】総合型地域スポーツクラブとの連携・協働	スポーツ推進課	《総合型地域スポーツクラブ活動費等補助金》 OGINOスポーツクラブへ対して、要綱に基づき経費を支出。 《市民協働提案事業「スポーツによる地域活性化」》 総合型地域スポーツクラブ(一社)SCDスポーツクラブとNPO法人厚木スポーツクラブが共同提案者となり、スポーツによる地域活性化を目的に事業を実施。
		36	指導者の育成	(公財)厚木市スポーツ協会	《スポーツセミナー》 スポーツ活動において必要とされる知識の習得を目的に、各種研修講座を開催予定。 《指導者養成助成》 競技団体が指導者及び審判の育成を目的として組織的、計画的に実施する事業に対し、その経費の一部を助成。

指導者の育成・活用	37	スポーツ活動のコーディネーターの育成	スポーツ推進課	スポーツ基本法第32条に基づく、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の推進役となるスポーツ推進委員による各部会を開催した。
	38	スポーツ推進委員の活動の充実	スポーツ推進課	
	39	【新】体育振興会委員の育成	各地区公民館	体育振興会連絡協議会に対して、補助金交付。 ≪5地区体育振興会委員研修会≫ ①(地区分け:厚木北、厚木南、依知北、依知南、睦合北 種目等:ワンバウンドふらばーるバレーボール大会) ②(地区分け:睦合南、睦合西、荻野、小鮎、緑ヶ丘 種目等:ワンバウンドふらばーるバレーボール) ③(地区分け:玉川、南毛利、相川、愛甲、森の里 種目等:ポッチャ) ≪各地区体育振興会委員研修会≫ (種目等:カーレット、室内ペタンク、ピラティス教室、グラウンド・ゴルフ、サーチウオーク等)
スポーツボランティアの育成・活用	40	スポーツボランティアの確保・育成	スポーツ推進課	スポーツイベントの運営に係る業務をスポーツボランティアに依頼し、確保と育成を図った。
			(公財)厚木市スポーツ協会	スポーツイベントの運営に係るスポーツボランティアの確保と育成に努め、登録を募ったボランティアをイベントに派遣。
41	市内高等学校・大学と連携した人材の活用	睦合北公民館	≪第22回青少年スポーツ教室「みんなで ワッシュイ スポーツだ！」≫(3/11開催予定) 厚木北高校の生徒を指導者として、地域の小中学生にスポーツを指導するとともに健全な青少年の育成を図る。 種目:サッカー、バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール	
スポーツ関係団体等の支援・育成及び連携・協働	42	厚木市スポーツ協会の支援・協働	スポーツ推進課	スポーツ協会運営に要する経費の一部を補助し、スポーツ協会を通じて各種スポーツ大会や教室を実施することで本市スポーツの推進を図った。
	43	スポーツ関係機関への支援と協働	スポーツ推進課	・スポーツ少年団、レクリエーション協会、地区体育振興会長連絡協議会への補助金交付 ・スポーツ協会加盟団体等主催スポーツ大会等への教育委員会後援
	44	市内の高等学校・大学、企業・事業所との連携・協働	スポーツ推進課	共催等承認申請のあった大会等の教育委員会共催等承認を行った。 ≪市民協働提案事業「スポーツによる地域活性化」≫ NPO法人厚木スポーツクラブと総合型地域スポーツクラブの(一社)SCDスポーツクラブが共同提案者となり、スポーツによる地域活性化を目的に「スポーツ教室」及び「ドリームフェスタ」を実施した。
			(公財)厚木市スポーツ協会	松蔭大学女子バスケットボール部の選手が講師を務め、バスケット初心者も経験者もみんなが楽しめるイベントを開催した。
45	【新】学校法人日本体育大学との連携	スポーツ推進課	「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結している学校法人日本体育大学との連携事業 ≪ニュージーランド代表選手によるバスケットボールクリニック with 日体大≫ ≪あつぎスポーツアカデミー事業への指導者等の派遣≫	
46	全国的な体育・スポーツ大会への参加支援	スポーツ推進課	全国大会や国際大会(障害者スポーツ含む。)などへ出場する市民を支援した。(138件(うち国際大会6件))※2月20日現在	

競技スポーツ活動の機会の提供	47	競技スポーツ活動への支援	スポーツ推進課	競技団体選手強化事業として、強化合宿及び強化練習会の経費の一部を交付していたが、新型コロナウイルス感染防止対策として、合宿等は中止。	
			荻野公民館	≪剣道教室≫ 目的:子どもから大人まで日本古来の武道に触れ合う機会を設け、教育(体育)の基本である心・技・体について学ぶ機会を提供する。 参加者:22人(受講者11人、保護者11人)	
			(公財)厚木市スポーツ協会	競技団体が選手の育成又は強化を目的として組織的、計画的に実施する事業に対し、助成金を交付した。 30競技の加盟団体に対して助成金を交付し、活動の活性化を図ることができた。	
	48	トップアスリートから指導が受けられる機会の提供	スポーツ推進課	≪ニュージーランド代表選手によるバスケットボールクリニックwith日体大≫ 協定を締結している学校法人日本体育大学関連校のバスケットボールに取り組む学生に対し、男子ニュージーランド代表選手の技術を学ぶ機会を提供し、同時にスポーツを「見る・する・支える」を体験してもらうことで、今後の活動に生かしてもらう。	
			(公財)厚木市スポーツ協会	あつぎスポーツアカデミー事業において、トップアスリートが講師を務めた。 ≪キッズ野球アカデミー≫SBSリコーロジスティクス(株)野球部 ≪永里源気サッカーアカデミー≫永里源気/永里亜紗乃/田代蓮太/飛田裕大 ≪バスケットボールクリニック≫松蔭大学バスケットボール部 ≪中学生ソフトテニススクール≫厚木市役所ソフトテニス部員 ≪中学生ソフトテニスアカデミー≫厚木市役所ソフトテニス部員 ≪中学生バドミントンアカデミー≫潮田玲子/内藤祐輔/木村百伽 ≪中学生軟式野球アカデミー≫館山昌平/森本稀哲 ≪中学生バレーボールアカデミー≫迫田さおり/江畑幸子 ≪中学生卓球アカデミー≫新井卓将/湯原美保	
			荻野公民館	≪柔道教室≫ 講師:中矢力選手(ロンドンオリンピック銀メダリスト) 参加者:60人(受講者31人、保護者29人)	
			睦合西公民館	(睦合西公民館、荻野公民館共催。留学生も参加し、国際的な交流事業にもなった。)	
	スポーツ医・科学導入	49	スポーツドクター、スポーツトレーナー等の活用推進	(公財)厚木市スポーツ協会	≪スポーツセミナー≫(3/11開催予定) 市民のスポーツの促進を図るため、スポーツ指導者を対象としたセミナーを開催する。
			スポーツ医・科学導入の検討	(公財)厚木市スポーツ協会	≪スポーツセミナー≫(2/18開催) 市民のスポーツの促進を図るため、スポーツ医科学に関する研修講座等を開催した。
		51	【新】医療機関との協力体制の構築	スポーツ推進課	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、医療機関との連携事業は開催なしとせざるを得なかった。
			スポーツ推進課	≪及川グラウンド・ゴルフ場≫ 令和5年3月1日から主な用途を「グラウンド・ゴルフ」として共用開始。さらに地域コミュニティの場として整備を進める。	

3 スポーツ活動を広げる環境づくり	スポーツ施設の整備・充実	52	新たなスポーツ施設の検討	観光振興課	《厚木deサイクルデジタルスタンプラリー》 実施期間：令和5年1月7日～2月28日 令和3年度に制定したサイクリングモデルルートを活用したスタンプラリーを実施し、本市のアウトドアフィールドとしての優位性を広く発信。
		53	既存スポーツ施設の有効活用・適正管理	環境事業課	《ふれあいプラザ再整備事業》建築工事に着手するとともに事業者と協議会を開催し、適切な進捗管理を行った。
				スポーツ推進課	《体育施設整備事業》多くの市民が利用しやすく、スポーツを身近に親しめるよう環境整備に努めた。 《各施設維持管理及び維持補修事業》安心して安全で快適なスポーツ施設を御利用いただくため、日常の円滑な維持管理及び施設修繕等優先順位を定め維持補修を行った。
				(公財)厚木市スポーツ協会	《市営スポーツ施設の管理運営》市民ニーズに対応したサービスの向上と利用者の拡大に努めた。
		54	高齢者や障がい者等に配慮した施設の充実	スポーツ推進課	バリアフリー化やユニバーサルデザインを考慮した施設の整備に努めた。
		55	市立小・中学校の体育施設の活用	スポーツ推進課	スポーツ・レクリエーション活動の普及と地区住民相互の親睦を図ることができた。 ・屋外運動場、体育館の一般開放を実施した。 ・プール開放については、事業中止。
		56	健康・交流のみちの利用促進	健康長寿推進課	健康・交流のみち(相模川、中津川、荻野川、小鮎川、恩曾川、玉川)の普及啓発を図るため、リーフレットを公共施設等に配架した。
		57	ハイキングコースの利用促進	観光振興課	豊かな緑の中を森林浴ができる8つのハイキングコース(白山、白山順礼峠、猪久保、鐘ヶ嶽、日向薬師、見城、高松山、鳶尾山)について、整備した。また、森林セラピー体験などの事業で活用し利用促進を図った。
		58	企業・大学等との協働	スポーツ推進課	大学のグラウンド等を活用したスポーツ大会等は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。
		スポーツ関連情報の提供	スポーツ関連情報の充実	59	【新】スポーツ関連情報の総合ポータルサイトの構築
60				スポーツ推進課	公共スポーツ施設のガイドブック作成
				(公財)厚木市スポーツ協会	スポーツ協会の活動をはじめ、各種のスポーツ情報をスポーツ協会情報紙『The Sports in あつぎ』で2回発行した。発行部数は各号81,500部 スポーツに関する書籍等を購入し、指定管理施設に設置した。また、南毛利スポーツセンターではタブレット端末を設置した。 ホームページをリニューアルし、各種スポーツイベントの情報を提供した。Facebook、Instagram、Twitterを使用し、情報を発信した。